

2021年3月期 第1四半期連結業績概要

2020年8月7日

フジテック株式会社

(東証一部：6406)

【2021年3月期第1四半期の概況】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により売上高は12.9%減、営業利益は26.4%減
- 新設市場が停滞も、社会基盤である保守事業は各国で継続
- 新常態（ニューノーマル）で求められる「非接触ボタン」や「混雑度表示」などの衛生面を強化する新機能が高い評価。国内外で展開を推進
- グローバル市場展開によるリスク分散の効果。東南アジア、インド、カナダなどが収益に貢献。さらなる生産と供給の安定に向けて台湾とインドを整備
- 日本および北米・欧州の営業利益の回復が課題
- 中期的な成長にむけた生産能力の強化および効率化を継続

【2021年3月期の業績予想】

- 2020年5月13日に公表した予想は据え置き。配当予想年間50円

【今後の戦略的方向性】

- 2020年3月期を初年度とする中期経営計画“*Innovation, Quality & Speed*”は、初年度に計画達成
- ステークホルダーの皆さまからの意見も踏まえ、事業戦略や資本政策等について、年内を目途に新たな方向性を取りまとめ、年内に公表予定

2021年3月期 第1四半期業績ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症による各国政府の活動制限措置などで経済活動が停滞した影響で、2021年3月期第1四半期は、減収減益

(単位：百万円)

	2020/3 1Q	2021/3 1Q	前年同期比(%)
売上高	39,169	34,103	△12.9
国内	16,258	14,713	△9.5
海外	22,910	19,390	△15.4
営業利益	1,953	1,438	△26.4
経常利益	2,371	1,746	△26.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,707	1,293	△24.2
1株当たり四半期純利益	21.11円	15.96円	-

2021年3月期第1四半期における昇降機業界の状況

- 各国の活動制限措置に伴う建設工事の停止ならびに延伸、工場の一時操業停止など、事業活動に大きな影響
 - ✓ 新設事業
 - 新規建築計画の停滞から需要が減少
 - ✓ アフターマーケット事業
 - モダニゼーション事業：計画が延伸
 - 保守事業：社会基盤であるため、契約条件の一部変更などあるが、事業継続しており、影響は限定的



社会基盤を維持するための保守事業の安定性がCOVID-19の悪影響の一部をオフセット

● 安全対策の徹底

- ✓ お客さまや関係先、従業員の“安全・安心”の確保を最優先に感染症拡大の防止
- ✓ 各国の感染状況や政府の施策に従い在宅勤務などの対応を継続

● 事業戦略の推進

- ✓ 社会基盤である保守サービスの安全で確実な提供
- ✓ ニュー・ノーマルのニーズにこたえるイノベーションの強化
 - 4月に日本で新標準機種「エクシオール」販売開始
 - 「非接触ボタン」、3密を避ける「混雑度表示」など衛生面を強化する新機能が、国内外から高い評価。海外へも展開中
- ✓ オペレーション戦略
 - インド・台湾で生産能力の強化と効率化を推進
 - 日本で生産性向上を目指した自動化を推進

・ 新標準機種エレベーター「エクシオール」は感染症対策に期待

【非接触ボタン】



赤外線センサーに手をかざすことで、ボタンに触れずエレベーターの呼び登録や行き先階登録が可能



【混雑度表示】

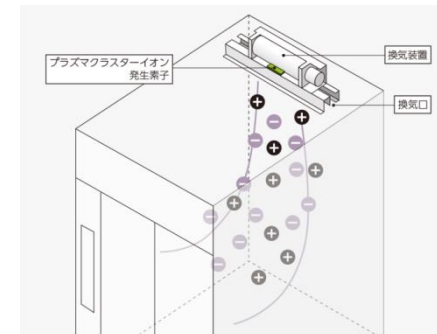


カゴ内の混雑状況を5段階で表示。利用者は到着するエレベータにどのくらいの人が乗車しているか 事前に把握でき、「混んでいるから見送ろう」など、3密を避ける判断の一助に

【抗菌ボタン】

素材に抗菌性樹脂を練り込んでおり、細菌の増殖を抑制。塗装施工より耐久性に優れ、劣化などで剥がれる心配もありません

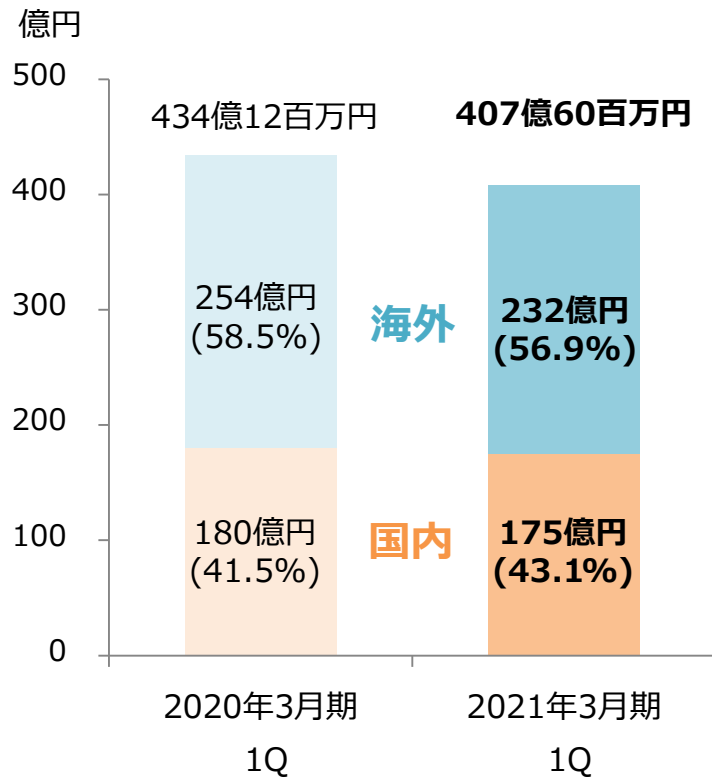
【イオンフル】



浮遊カビ菌やタバコ付着臭を分解・除去するシャープ株式会社の「プラスマクラスター技術」を活用し、エレベータ内の空気の汚れを浄化

	主な影響
日本	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上は、新設で5月上旬で現場が一部閉鎖されたが、その後は稼働開始 ● 受注は、低調に推移 ● 生産への影響は、部材調達への軽微な影響のみ ● モダンゼーション工事・修理は一部で順延などの動きあり ● 保守は、ほぼ順調
東アジア	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国：2-3月の生産活動停滞後、景気刺激政策にを受け4月以降はほぼ正常化。受注は、デベロッパーの活動が低迷を受け低調。売上は新設が低調 ● 香港：活動規制の再強化から新設・モダンゼーション工事ともに影響大 ● 韓国：モダンゼーション工事の受注が順調で影響は比較的軽微 ● 台湾：新設・アフターマーケットともに順調
南アジア	<ul style="list-style-type: none"> ● シンガポール：ロックダウンは、5月で終了、徐々に正常化に転じる ● インド：ロックダウンが長期化し、生産、販売活動に影響大。保守は経済再開に伴い順次再開 ● マレーシア他：新設工事が減少し売上減少
北米・欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 北米、英国：事業活動に、大きな制約を受ける ● 米国：受注活動、新設工事が大きく停滞 ● カナダ：新設工事は受注済み案件の工事が順調

- 2021年3月期 1Qの受注高合計は、407億60百万円（前期比6.1%減）



グラフ内の数値：受注金額(構成比率)

【国内受注】175億47百万円(前期比△2.6%)

- 新設事業
 - 緊急事態宣言下の事業活動自粛により民間向けの需要減少。一方で官庁向けが増加し、受注は前期並み
- アフターマーケット事業
 - モダニゼーション工事の手控え発生し、受注減少

【海外受注】232億12百万円(前期比△8.6%)

- 新設事業
 - 東アジアは、中国をはじめ各国の受注減少
 - 南アジアは、シンガポールとインドで低調。インドネシアとマレーシアで大型案件獲得
 - 米国で大きく減少
- アフターマーケット事業
 - シンガポールで保守が増加

2021年3月期第1四半期セグメント別業績

- 売上高は、全セグメントで減収
- 営業損益は、東アジアおよび南アジアで増益

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	2020/3 1Q	2021/3 1Q	増減(%)	2020/3 1Q	2021/3 1Q	増減額
日 本	16,996	15,455	△9.1	626	130	△496
東 ア ジ ア	14,626	10,754	△26.5	417	723	+306
南 ア ジ ア	4,154	4,070	△2.0	716	801	+84
北米・欧州	6,125	5,918	△3.4	234	△236	△470
小 計	41,902	36,199	△13.6	1,995	1,419	△575
調 整 額	△2,733	△2,095	-	△41	19	61
合 計	39,169	34,103	△12.9	1,953	1,438	△514

		2021年3月期 2-4Q 見通し (COVID-19の影響)
日	本	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの状況と大きな変化はないと想定 ● 生産は順調 ● 受注は民間での回復が鈍い ● 販売はモダニゼーション工事・修理が一部延期 ● 経済活動の制限が続けばアフターサービス事業（保守、修理、モダニゼーション工事）への影響拡大
東	ア ジ ア	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国の受注活動は、デベロッパーが停滞し、新設工事は受注済案件の工事が順調に進捗すると想定 ● 入札案件が減少し受注が低迷 ● 受注の減少と工事遅延が売り上げに影響すると想定
南	ア ジ ア	<ul style="list-style-type: none"> ● 受注活動は、低速な経済活動の影響で低位に推移すると想定 ● 新設工事は一部に遅延するなどがあるも、徐々に回復傾向にある ● インドが生産・販売ともに最も影響を受ける地域と想定
北	米 ・ 欧州	<ul style="list-style-type: none"> ● 受注活動は、新設案件を中心に延伸などが多く発生し低調を見込む ● 新設工事は、米国東海岸地域を中心に徐々に回復見込み ● アフターマーケット事業は、保守は影響少なく、修理やモダニゼーション工事も徐々に回復を想定

2021年3月期連結業績の予想は据え置き

- 2021年3月期連結業績は減収減益を想定も、日本は増益へ

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2020/3 (通期)	2021/3 (通期)	増減%	2020/3 (通期)	2021/3 (通期)	増減額
日 本	74,751	70,000	△6.4	4,891	5,000	+108
東 ア ジ ア	74,748	64,000	△14.4	5,297	3,600	△1,697
南 ア ジ ア	16,379	16,000	△2.3	2,135	1,700	△435
北米・欧州	25,443	25,000	△1.7	1,045	600	△445
小 計	191,323	175,000	△8.5	13,370	10,900	△2,470
調 整 額	△10,091	△10,000	-	5	△200	△205
合 計	181,232	165,000	△9.0	13,375	10,700	△2,675

現中期経営計画“**Innovation, Quality & Speed**”を初年度に達成

- ▶ 3カ年中期経営計画“**Innovation, Quality & Speed**”は2020年3月期に初年度をスタート
- ▶ 初年度に最終年度の目標を超える成果を上げた

新型コロナウイルス感染症が今後の経営に与える影響

- ▶ 2021年3月期の大幅な減収減益見込みからの回復への指針
- ▶ 新しい生活様式が新常态（ニューノーマル）となる世界で求められる昇降機のイノベーションの提供

ステークホルダーの皆さまからの意見

**事業戦略や資本政策等について新たな戦略的方向性を
年内を目途に公表予定**

FUJITEC

参 考 資 料



クリエイティブ スタジオ 東京（東京都港区）

参考資料：第1四半期連結バランスシート

(単位：百万円)	2020/3末	2020/6末	増減額	備考
流動資産	140,884	132,591	△8,292	
現金及び預金	57,024	54,668	△2,355	東アジア、北米・欧州での減少
受取手形及び売掛金	61,626	54,853	△6,773	日本、東アジアでの減少
棚卸資産	19,321	20,263	942	
その他	5,053	5,194	140	
貸倒引当金	△2,142	△2,389	△247	
固定資産	52,697	54,849	2,152	
有形固定資産	34,188	33,701	△486	設備投資+454 減価償却△763 為替ほか△177
無形固定資産	3,640	4,910	1,270	
投資その他の資産	14,868	16,237	1,368	
総資産	193,581	187,441	△6,140	
流動負債	70,083	66,146	△3,937	前受金+2,052 支払手形及び買掛金△3,360 電子記録債務 △1,035 短期借入金△1,224
固定負債	4,783	4,789	5	
純資産	118,714	116,505	△2,208	利益剰余金△1,138 為替換算調整勘定△1,552 その他有価証券評価差額金+535
自己資本比率	55.2%	55.9%	0.7P	
B P S	1,318.59円	1,293.14円	△25.45円	

・ 新標準機種エレベーター「エクシオール」は感染症対策に期待

【非接触ボタン】



赤外線センサーに手をかざすことで、ボタンに触れずエレベーターの呼び登録や行き先階登録が可能



【混雑度表示】

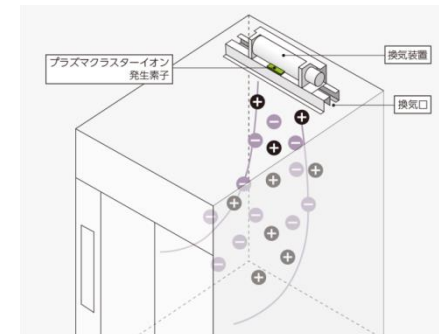


カゴ内の混雑状況を5段階で表示。利用者は到着するエレベータにどのくらいの人が乗車しているか 事前に把握でき、「混んでいるから見送ろう」など、3密を避ける判断の一助に

【抗菌ボタン】

素材に抗菌性樹脂を練り込んでおり、細菌の増殖を抑制。塗装施工より耐久性に優れ、劣化などで剥がれる心配もありません

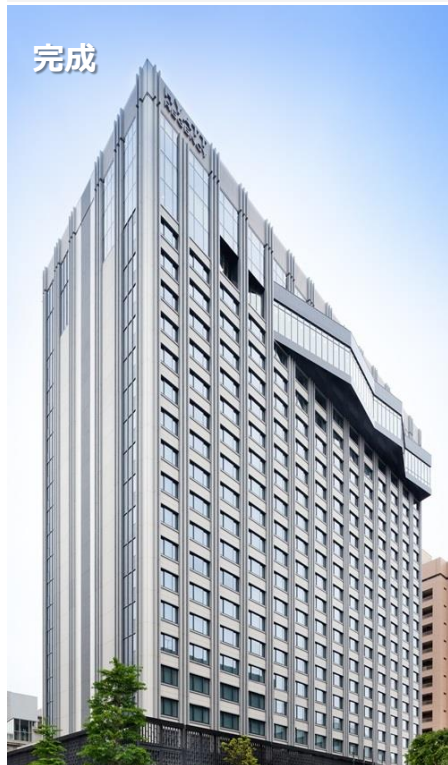
【イオンフル】



浮遊カビ菌やタバコ付着臭を分解・除去するシャープ株式会社の「プラズマクラスター技術」を活用し、エレベータ内の空気の汚れを浄化

新設工事

完成



ハイアットリージェンシー横浜
(日本・横浜)
エレベータ計7台

進行中



富邦信義A25總部
(台湾・台北)
エレベータ・エスカレータ計33台

モダニゼーション工事

進行中



Bank of America Plaza
(米国・ダラス)
エレベータ計38台

進行中



One Raffles Place
(シンガポール)
エレベータ計19台

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数90,067,000株）
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：9名（うち社外5名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 10,422名（単独 3,128名）
関係会社	34社（内、連結子会社19社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2020年8月7日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2020年8月7日

フジテック株式会社

2021年3月期 第1四半期連結業績概要

